

# 特別活動学習指導案

学習者 附属小学校1年1組 29名  
授業者 木村 友哉

## 議題名 1-1 自分たちでできるぞ 大きくせん (学級活動(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決)

### 1. 議題の目標

- (1) 学級のみならず、自分たちの力を十分に生かして生活していくための方法について話し合ったり、そのための取組を実践したりする活動を通して、みんなで学級生活を楽しくするために、他者と協働して取り組むことの意義を理解することができるようにする。
- (2) 学級生活を楽しくするために、問題を発見し、解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲よく助け合って実践することができるようにする。
- (3) 学級生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団活動に取り組もうとするようにする。

### 2. 題材の評価規準

	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
全体	みんなで学級生活を楽しくするために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。	学級生活を楽しくするために、問題を発見し、解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲よく助け合って実践している。	学級生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。
事前	①学級会の役割、基本的な進め方を理解し、話し合いの仕方を身に付けている。	①学級生活を楽しくするために、学級の問題を考え、表現している。 ②解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図っている。	①学級生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら話し合いや活動の準備に取り組もうとしている。
実践中	②決めたことを実践するために必要な方法を身に付けている。	③合意形成したことについて仲よく助け合って実践している。	②合意形成したことについて、見通しをもったり振り返ったりしながら集団活動に取り組もうとしている。
事後	③他者と協働して取り組むことの意義を理解している。		③集団活動に取り組んだことをもとに、自己や集団の良さや課題について振り返り、今後の生活に生かそうとしている。

### 3. 指導と評価の計画（2時間）

時	ねらい（◆）と主な学習活動（○）	評価規準〈評価方法〉 指導の改善に生かす評価「・」 総括資料とするための記録に残す評価「○」		
		知・技	思・判・表	主体
事前 (他の授業)	◆学級のもっと良くしたいことについて、これまでの自分たちの成長を振り返るとともに現在の学級の課題について出し合います解決したい課題を比べることを通して、学級の課題を見だし課題解決しようとする意欲が高まるようにする。			
	○1 2月までの自分たちの頑張りを振り返り、自分たちについて力を成長ノートに書き、学級全体で出し合う。 ○学級の課題だと思ふことについて出し合う。 ○残りの1～3月で、まず解決していきたい、レベルアップしていきたい課題を決める。		・①〈行動分析・記録分析〉	・①〈行動分析・記録分析〉
事前 (モジュール)	自分たちの1日の生活を見つめなおし、過剰に担任の先生に頼っていたり、先生がいないと問題が起きたりしている場面を把握し、学級全体で共有する。			
	<p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝の連絡帳は先生が来ないといつも困るんだよなあ。</li> <li>・自習の時間の過ごし方でうるさかったり立ち回ったりしてるよね。</li> <li>・給食当番の待ち時間に、遊んだりうるさくなったりしちゃうんだよなあ。</li> <li>・先生がなんかたくさん声を掛けてくれてるけど、それでいいのかな。</li> </ul>			
1 本 時	◆先生の力を借りずに自分たちの力で生活していくための学級生活の工夫について、現在の自分たちの生活における問題場面から解決案を出し合い、比較・検討し学級全体で合意形成することを通して、学級で取り組むことを決めることができるようにする。			
	○自分たちの力で生活していくための学級生活の工夫を出し合う。 ○出た意見に質問をする。 ○出し合った工夫について意見を言い合う。 ○学級で取り組むことに折り合いをつけて決める。	・①〈行動分析・記録分析〉	・②〈行動分析・記録分析〉	
日 常 生 活	◆合意形成したことについて仲よく助け合いながら見通しをもったり振り返ったりし実践するようになる。			
	○学級会で決まったことを実践する。	・②〈行動分析〉	・③〈行動分析・記録分析〉	・②〈行動分析・記録分析〉
2	◆学級会で合意形成し実践してきた作戦について、一つひとつの取組みの実践効果を振り返ることを通して、自分たちの課題が解決しより良い学級生活に近づいたか振り返ることができるようにする。			
	○話し合いで決まって、実践してきたこと(作戦)について確認する。 ○実践してきた一つひとつの作戦(工夫)が、うまくいったのか、うまくいってないのか振り返り、さらに良くなるように改善案を出し合う。 ○今回の学級活動での自分たちの成長やついた力を確認・共有する。	・③〈行動分析・記録分析〉		・③〈行動分析・記録分析〉

#### 4. 本時の指導（1/2）

本時のねらい	先生の力を借りずに自分たちの力で生活していくための学級生活の工夫について、現在の自分たちの生活における問題場面から解決案を出し合い、比較・検討し学級全体で合意形成することを通して、学級で取り組むことを決めることができるようにする。
評価規準	先生の力を借りずに自分たちの力で生活していくための学級生活の工夫について、話合いの進め方に沿って合意形成を図っている。
具体的な児童の姿	「自分たちでもっとお互いに声掛けをできるようにしたらいいんじゃないかな」 「給食のときに先生にやってもらえることが多いから、わかる人がアドバイスするのはどう？」 「でも、大きいおかずは熱いし危ないからまずは先生に教わりながらしてみるのがいいんじゃない」

時間	児童の活動	指導〇及び留意点・ ◎評価〈方法〉※支援を要する児童への手立て
5分	1. 話し合うことやめあてなどを確認する。	〇自分の考えを持ったうえで話合いに入れるよう、事前に成長ノートにそれぞれの考えを書いておくようにする。
	めあて：自分たちの力ですごすためのさくせんをかんがえよう！	
	はなしあうこと：自分たちの力ですごすにはどうするか？	
	りゆう： 12月までたくさんの力をつけてきたけど、先生がいないとうるさくなっちゃったり、ふざけたりする人が出てきたりしてしまう。まだまだ、先生の力を借りているところも多いけど、もっと先生に頼らずに自分たちの力で生活できるようになりたいから。	
		〇事前の振り返りででた課題場面を確認できるようにする。
10	2. 学級生活の中で、自分たちの力でより良い生活をしていくための解決案を出し合う。	〇事前に学級全員で確認した問題場面をもとに、問題を解決し自分たちの力でより良い生活にできるような解決案を出し合えるようにする。 ・教師が司会の役割を担うが、児童自身で指名し合い、案を出し合えるようにする。 ※事前にあらかじめ考えておいたものを発表できるように成長ノートを準備しておくようにする。  ◎自分たちの力でより良い生活をしていくための工夫を考えて表現している。〈行動分析・記録分析〉
	【想定される児童の姿】 ・朝の連絡帳は自分たちで書くようにしよう。 ・声掛け当番を作ってみたらいいんじゃない。 ・日直が先生役になって注意できるようにしたらどうかな。 ・給食当番の大きいおかずも自分たちでできるようにしよう。	
20	3. 出し合った解決案について、意見を言い合いながら、学級生活に生かしていく工夫を学級全体で折り合いをつけながら決定する。	〇出し合った解決案について、賛成意見や反対意見を言い合いながら解決案の内容をより精査してブラッシュアップしていきけるようにする。 ・教師が司会の役割を担うが、児童自身で合意形成できるように声掛けを行うようにする。 ・少人数で話す場面もつくり、全員が自分のアイデアを生かせるよ

		<p>うにする。</p> <p>○「いけんのまとめかた」を生かしながら、学級全員で納得できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1つを選ぶのではなく、生かしたいものをえらべるようにする。</li> </ul> <p>◎他者の考えを生かし折り合いをつけながら、合意形成を図っている。〈行動分析・記録分析〉</p>
10	5. 本時の振り返りを行う。	<p>○めあてに対して振り返りを行なえるように、成長ノートに自分の思いを記述するようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話合いの中での、友達のよさや頑張り</li> <li>・ 今後の実践に対する思い など</li> </ul> <p>○全体で交流するようにする。</p>